

～新宿駅周辺地区協議会～

第 38 回 安全安心を考える分科会 概要

平成 22 年 3 月 8 日（火）14:00～
角筈特別出張所 2 階会議室

出席者 委員:9 名 事務局:3 名

1 リーダー挨拶

会議に先立ち、リーダーより挨拶があった。

2 議事

▼自転車講習会について

- 3 月 26 日（土）11:00～15:00 に開催の中央公園春まつりの一団体として参加。
- 委員はジャブジャブ池に 10:50 に集合。
- 少雨決行
- 雨天中止の場合は、9:00～9:30 に事務局より連絡を行う。
- 昼食については、後日事務局より連絡する。
- 協力は新宿警察署交通課交通総務係。

場所	中央公園 ジャブジャブ池周辺(十二社通りから階段で入っていけるあたり)
内容	①腹話術によるマナー講習会、②コースを作って体験。時間帯は 11:30～12:00 を予定しているが、参加者の人数によっては延長も可能。
対象	大人がメインだが、子どもが多ければ対応可。補助輪付きの自転車については、事務局で確認する。→大人用・子ども用・補助輪付きの 3 種類を依頼する。
協力	新宿警察署交通課交通総務係
啓発グッズの配布について	検討の結果、ポケットティッシュ、キーホルダー型反射板、自転車のスポークに装着する反射板に決定。基本的には参加者に配布するが、数に余裕があればほかの人にも配布する。
委員の役割	参加者の呼び込み、地区協 PR、グッズ配布、参加者誘導、警察のサポート、自分たちが参加者としてにぎやかに楽しむ。
着ぐるみ	興味を持たせるためには、着ぐるみがいたほうが良い→ピーポ君、新宿シンちゃん、社協の持っている着ぐるみなど、借りられるか事務局で確認する。
風船	地区協で何種類か購入する(大きい物、長い物、模様がついているものなど)、数は 100 個くらい。空気入れは地域センターに借りられるかどうか確認する。

▼平成 23 年度の事業について

平成 22 年度の事業の振り返りと、今までに意見として挙がっていたものを踏まえて、23 年度にどのような事業に取り組みたいかについてのワークショップを行った。

<手順>

- (1) 各自で付箋 1 枚につき 1 つのやってみたいことを記入
→継続してやってみたいことや、新たにやってみたいことなどを記入
- (2) 模造紙に付箋を貼り、内容ごとに分ける
- (3) 発表、イメージの共有
- (4) 全員で 23 年度にどのような事業を行うか検討・決定する

<委員の意見のまとめ>

警察関係

- ・警察の防犯講座（3）
- ・警察との懇談会
- ・薬物乱用防止のための出前講談
- ・体験を交えた振り込め詐欺、お金のトラブル対処法
- ・インターネット被害
- ・PTA、子ども向け携帯講習会
- ・子どもの携帯電話所持に親としての対処方法
- ・歩行者の交通安全講習
- ・歩道の歩き方

防災関係

- ・防災講習会
- ・地震対策
- ・防災 地盤、備蓄、水など現状を確認して安心できるように
- ・巨大地震があったときの対処について
- ・地震に備えての訓練→現地を視察した方の目撃談
- ・工学院大学と防災について考える
- ・ハザードマップ
- ・西新宿小 PTA と一緒に避難所の見学体験
- ・安全シート、安心カードの作成（町連で作ったものを参考に）
- ・PTA との意見交換等

その他

- ・神田川の見学
- ・神田川河川敷の見学（季節を考えて）
- ・区内の歴史、文化探訪
- ・安全安心まち歩き、違法看板、違法駐車、違法駐輪のチェックなど
- ・安全安心分科会として毎年継続的に取り組めるイベント
- ・独居老人の見守りは具体的にどのように？皆で議論したい
- ・東京ガス新宿ショールーム体験（認知症、安全な入浴）
- ・健康について講習会
- ・他の地区協との交流（例：四谷）
- ・いろいろな企業、学校とコラボした講習会をする→この地域だからこそできる

消防関係

- ・消防関連の見学会
- ・消防救命講習会
- ・上級救命講習会を繰り返し行う。
- ・救命講習会などを定期的に開催

※上記の意見を基に、事務局で案を出し、その案を基に次回以降の分科会で検討することになった。

3 その他

▼新委員向けオリエンテーションについて

4 月に新委員に向けてのオリエンテーションを予定しているので、分科会紹介をしてくれる委員を募集することになった。

▼支援員の退職について

まちづくり活動支援員の金木が3月末で退職するにあたり、挨拶を行った。

4 次回日程

次回は中央公園春まつりに参加

日時：3月26日(土) 10:50 集合

場所：中央公園 ジャブジャブ池